

教育再生

「教育再生」から
「日本再生」へ

紫陽花号

平成21年6月

通巻
第15号

特別対談

日本の国柄と天皇

元内閣総理大臣・衆議院議員

作家・慶應義塾大学講師

安倍晋三 × 竹田恒泰

(聞き手：八木秀次)



巻頭言
教育再生は
歴史教育の
再生から始まる
岡崎久彦
元駐タイ大使

特別インタビュー

千葉は「教育日本一」をめざす!

千葉県知事

明治学院大学副学長

森田健作 × 川上和久

(聞き手：八木秀次)

論点

わたしの道徳教育観

ひとつの問題提起

NPO法人「師範塾」塾長

占部賢志



美しい日本の心を伝える
日本教育再生機構

日本の心 和歌の心 十五

松浦 光修
皇學館大学教授

明け初むる 賢所の庭の面は
雪積む中に かがり火赤し

作者 今上陛下



今上陛下は、昭和八年十二月二十三日、昭和天皇、香淳皇后の第五子として誕生されました。昭和天皇にとっては初の皇子です。十一歳の時、終戦を迎えられた陛下は、「新日本の建設」という作文に、「もともと、しっかりと、明治天皇のように皆から仰がれるようになって、日本を導いて行かなければならないと思います」と、お書きになっています。この時、おそらく今上陛下は、これからおとづれる「戦後」という時代の「苦難」を予感されつつも、それに雄々しく立ち向う覚悟を固められたのでしょう。占領軍は、旧皇室典範をはじめ、皇室のあり方を規定した法令のほとんどを、また、あるいは皇室を支えるさまざまな組織を、いずれも廃止したり、縮小したりしました。これによって、天皇や皇族は、御自身にかかわる皇室典範についての発言さえ、法的にいえば、できないことになりました。さらに占領軍は皇室財産を奪い、皇室を経済的に追いつめるとともに、十四あった宮家のうち、十一宮家の皇族身分を奪い、将来の安定的な皇位継承を、むずかしいものにします。「戦後」という時代は皇室にとって、歴史上、戦国時代以上に「苦難」の時代である、といってもいいでしょう。

しかし、いまだにそのような「占領遺制」がづくなか、昭和天皇も今上陛下も、御一身をかけて、皇室の伝統を護りつづけていらっしゃいます。その何よりの証は、今上陛下が「宮中祭祀」に、きわめてご熱心である、という事実です。この歌は、平成十七年の歳旦祭（元旦の早朝のお祭り）の時のようすを詠まれたもので、その時、御殿に雪が積もっていたことがわかりますが、真冬の早朝のお祭りは、御高齢のお体に、どれだけこたえたことでしょうか。けれども、陛下は、「民の父母」として、「民、安かれ」との祈りを、けっしておろそかにはされたりはしません。「皇室は祈りでありたい」というのは、皇后陛下のお言葉ですが、それはまた陛下のお心でもあるでしょう。いわば「祈り」こそが、天皇のご本務なのです。今年、両陛下のご結婚から五十年、今上陛下の御即位から二十年という記念すべき年です。私たちは国民の一人として、心よりその御慶事を奉祝させていただくとともに、陛下の「民、安かれ」の祈りにお応えする、「君、安かれ」の祈りの心があるかどうか、あらためて、みずからの胸に問うてみるべきでしょう。

日本教育再生機構：5つの方針

- 1 伝統文化を継承し、世界に発信します。
- 2 心を重視する道徳教育を充実させます。
- 3 男女の違いを尊重し、家族を再興します。
- 4 教師力を向上させ、学力を取り戻します。
- 5 教育再生を願う志と志をつなぎます。

詳しくはウェブサイトへ

日本教育再生機構

検索

<http://www.kyoiku-saisei.jp/>

クリック!

サポーター大募集!

—教育再生に皆様のご支援をお願いいたします—

法人(団体) サポーター:	年額 一口 10万円	(特典=各種イベントご招待・出版物等の贈呈など)
個人サポーター:	年額 一口 5万円	(特典=各種イベントご招待・出版物等の贈呈など)
準サポーター:	年額 一口 1万円	(『教育再生』の贈呈、各種イベント割引など)
登録サポーター:	年額 5000円	(『教育再生』の贈呈、各種イベント等のご案内を送付)

※本誌「教育再生」をお求めの方はサポーターに!

振込先 日本教育再生機構 郵便振替 口座番号 00150-4-760896 (振替用紙は前頁に挿入)

平成21(2009)年 6月10日発行
教育再生 紫陽花(六月)号 年6回隔数月10日発行

森田 健作

千葉県知事、日本教育再生機構代表委員

千葉は「教育日本一」をめざす!

川上 和久

日本教育再生機構副理事長、明治学院大副学長

聞き手・八木秀次

3月の千葉県知事選で圧勝した森田健作知事は日本教育再生機構の設立以来の代表委員にご就任いただいています。文部政務次官を2度務めるなど教育正常化に取り組んできた森田氏はマニフェスト（選挙公約）に「教育日本一——強く美しく元気な心を育てます!」を掲げ、有権者の圧倒的な支持を得られました。かつての青春スターそのままに公約実現に向けて奔走する森田知事と、「元気モリモリ、千葉を日本一にしよう会」代表として選挙戦をとりに戦った当機構の川上和久副理事長に語り合っていました。

美しい日本の心を再生

八木 森田知事、当選おめでとうございます。
森田 ありがとうございます。

八木 お2人に語り合っていたたく前に、政治心理学がご専門の川上副理事長に、101万5978票という圧勝の理由について解説していただきたいと思っています。

川上 正直言って、予想を上回る得票でした。森田さんという、はつきりものを言う候補者の出現で、他人事だった県政が「自分事」になり、投票率が上がったことが原因だと思えます。千葉の「明るい未来」を森田さんが全身で表現されましたね。

八木 有権者の圧倒的な支持を受けているにもかかわらず、森田さんに対してはさつそく反対勢力からの攻撃があるわけですが、これには理由があって、森田さんのマニフェスト「輝け! 千葉・日本一」の内容に左翼が震え上がっているのです。

森田 きょうは川上先生に八木先生までお越しいただいて緊張しています(笑)。今お話がありましたように、僕みたいな者が来て困る人がいっぱいいて、何とか揚げ足を取ろうとしています。だからこそ負けてはいけない

と思います。僕は以前から言っているのですが、「出る杭は打たれる、出すぎた杭は打たれない」(笑)。

川上 マニフェストには「学力向上はもちろん、郷土愛の育成や道徳教育の強化など、人間としての基本的な躰や常識を養い、強く美しい日本の心を持った誇りある元気な子供を育てる環境づくりをめざします!」とあります。道徳教育を打ち出すのは画期的です。

森田 道徳教育については八木先生や川上先生をはじめ、日本教育再生機構の皆様が学ばせていただきました。教育というと、学力に目が向きがちですが、知識以前に共同体としての基本が失われつつあります。戦後教育によって、日本人の武士道精神というか、人を思いやる心、一歩下がる謙譲の気持ちが失われつつあるのではないかと心配しています。人間は一人で生きているわけじゃないんだよと、子供たちに教えたい。例えば、電気が付いて、本が読めるのもたくさんの人々のおかげなんだという感謝の気持ちを忘れてはいけません。人間として生きていく上で当たり前のことを教育に取り戻したいんです。

川上 森田さんが総指揮をし、自らも出演して平成18年に公開された「I am 日本人」という映画があります。千葉県内でロケが行

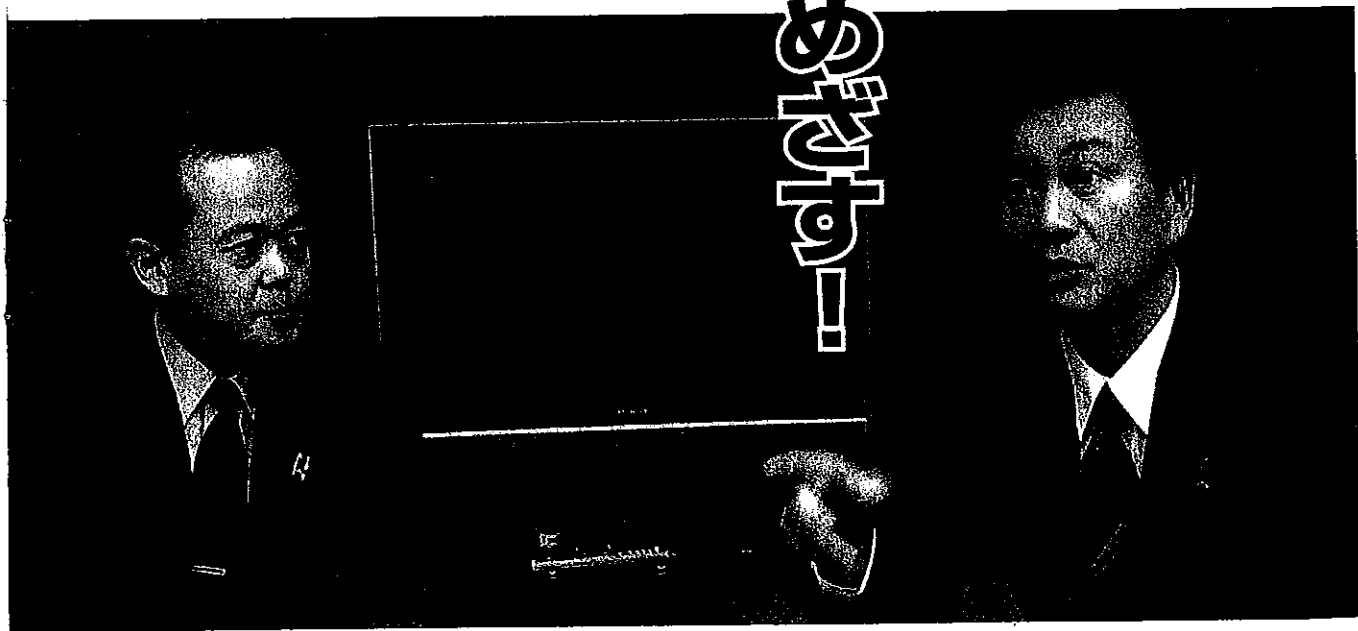
われました。カリフォルニアに住む日系三世の少女エミーが、あこがれの日本へ留学する。しかし彼女の見た日本は、亡き祖父から聞かされていた美しい国・日本ではなかった。エミーは、あなたたちは日本人の心をどこかに置き忘れていたのではないかと問題提起するのですが、まさにそういうことですね。

森田 千葉は成田空港を抱える国際都市ですが、国際化というのは根無し草のような無国籍者になることではありません。日本人としての誇り、自信を千葉県から発信したいと思っています。

川上 森田知事が客員教授をされている麗澤大学(柏市)はこの春「大学生のための道徳教科書」を発行しました。大学生用の道徳教科書は初の試みで、千葉の日本一のひとつです。千葉県は日本一になるポテンシャルを持っているんです。ぜひそういう試みを発掘し、称揚していただいて、道徳教育を千葉から発信してください。

前向きに生きる行政に

森田 道徳は子供への教育だけの問題じゃないんです。人の批判ばかりしている人が多いですが、それでは物事は前に進みませんね。



対談中の森田知事(右)と川上副理事長(左)



対談中の森田知事（左）と八木理事長（右）

就任式で職員を前に「お手並み拝見」「何をやるんだ？」という職員は要らないと言いました。どんな県政を行つたらいいか、どんな提案してほしい、と。僕はまず東京湾アクアラインの通行料を800円にしようと言つてまして…。

川上 東京湾アクアラインの通行料は普通車で3000円で、3月20日から自動料金收受システム（ETC）搭載車は土日祝日限定で1000円になりましたが、森田さんはこれ以前から800円化（全日）を唱えています。
森田 はい。その暁には「アクアラインマラソン」をやりたいと。みんな安くしてほしい

成金は全国ワースト4位で、県内高校生の32%が私立に通っているのにもかかわらず、県による財源措置はゼロです。

森田 教育にお金をかけて、再生していくことが、日本がこれから頑張れる源だと思いません。教育予算をケチつていくと、源がなくなるようになります。幼稚園も含めて、私学助成をまず全国平均まで引き上げることを目指します。もちろん公立学校を充実することは言うまでもありません。

川上 公立学校ですが、マニフェストでは、千葉県に現在1人しかいない民間人校長を積極的に採用するなど、斬新なアイデアで学校改革を進めることを謳っています。それから、人格に優れ、人間性豊かな熱血校長・熱血教師を増やすと。
八木 頑張っている先生を励ますということですね。

森田 おっしゃる通りです。教育の改革は教



森田健作氏 昭和24年東京都生まれ。明治学院大学中退。44年、松竹映画「夕月」でデビュー。46年「おれは男だ！」と主題歌「さらば涙と言おう」が大ヒット。映画「砂の器」（松竹）、テレビ「大岡越前」（TBS）をはじめ、多くの映画やテレビに出演。平成4年東京選挙区から参院議員に初当選。平成10年から15年まで衆院議員。文部政務次官など歴任。平成17年千葉県知事選で惜敗。平成18年、映画「I am 日本人」が公開（森田氏の原案・企画・製作・出演：総指揮）。

と想っているんですが、「そんなことできるわけない」「財源はどうするんだ」なんて水を差す。でも、誰かが最初に宇宙へ行こうと思わなかったら、今、宇宙ステーションなんかできてませんよ。果敢に進むならば、必ず結果が出てくるはずですよ。僕は絶対にあきらめない。4年前に落選しましたが、次の日の朝からあきらめないでやって来たから、今があるんです。「石橋を叩いて渡る」といいますが、僕は大丈夫だと思つたら走る。それで川に落ちたら、泳いででも渡る（笑）。

川上 前向きに生きようという行政の姿勢ですね。千葉の子供たちが、道徳教育で前向きになったら、他の都道府県の人たちは焦りますね。

森田 焦る、焦る（笑）。よく、今の若者は夢がないとか希望がないと言いますが、それを摘んでるのは僕たち大人なんです。50年近く前にケネディ大統領が月へ行こうと言つたときに、日本人はできるわけがないと思つた。でもアメリカ人はやってみようじゃないかとやって取り組んだ。だからアメリカンドリームなんです。

川上 千葉ドリーム実現の手始めとして、来年の千葉国体があります。昨年行われた文部科学省の運動能力調査で、千葉県の中学2年

師の改革からです。

歴史教育を正常化

川上 一方で森田知事は「家庭力——あなたの子どもは誰の子ですか？」という本を書かれ、家庭の重要性を強調していますが、家庭教育についてはいかがですか？

森田 僕は文部政務次官を2回やった結論として、やっぱり最後は家庭だと再認識しました。

八木 そういう意味で、堂本暁子前知事が推進してきた男女混合名簿などジェンダーフリー的な教育をどうされますか？ 過激な性教育とともに家庭破壊の源だと言われています。

森田 僕は男女は当然平等だと思つています。それぞれに特質があることもまた事実です。男性と女性は互いに補完し、支え合つて生きていくべきだと思つています。

八木 私たち日本教育再生機構は、扶桑社の

生は男女とも全国1位、小学校5年生は男女とも全国5位でした。マニフェストでは、若者主体の運営で「青春国体」にするとあります。国体に向けて、知事が先頭に立って「夕日に向かって走ろう」とやっていただきたいですね。子供たちが国体に向けて頑張るといふのは、生きた道徳教育だと思えます。

森田 おっしゃる通りです。千葉国体は公募で「ゆめ半島千葉国体」という名前が決まっていますが、僕はマニフェスト通り、「青春国体」を通称として使いたいのと思えます。

川上 マニフェストでは、千葉版教育再生会議とも言うべき「教育再生諮問会議」（仮称）の設置を打ち出しています。

森田 千葉県が教育や文化で日本をリードするには、日本一になるには、どうすればいいかを広い視野で議論していただこうと思つています。

川上 千葉の子供たちは、東京の学校がいいからと1時間半かけて東京に通っている子供がたくさんいますね。しかし一方で渋谷幕張のように逆に東京から通ってくる学校もあります。千葉の学校は日本一だと、子供たちを千葉に引き寄せるにはどうしたらいいか、ということも議論してほしいですね。マニフェストにあります。千葉県の私立高校向け助

局を担当しています。森田知事はマニフェストで「日本を嫌いになるような歴史教育の見直し」も挙げていますが、歴史教育についてのお考えはいかがですか？

森田 歴史教育において、事実かどうか疑わしいことを、自分のイデオロギーでくるんで、まだ判断能力のない子供たちに教えることは非常に問題があると思つています。八木先生と全く同じ考えです。これはきちんとは正していきます。

川上 「武道や伝統文化の奨励」というのは？

森田 武道や華道、茶道といったものからは、身心を鍛錬する上で必ず得るものがあります。僕は小学校6年で剣道を始めたときに、先生に「早く強くなって段を取りたい」と言いました。すると先生は「段がほしければいくらでもやる。そうではない。日本の武道というのは心を磨くためにあるんだ」と諭しました。「勝つて驕ることなかれ。負けて卑屈になることなかれ」。僕は子供でしたから、もつと易しい言葉で教えていただきました。スポーツマンシップですね。先ほども言

中学歴史・公民教科書の発行を継承するフジサンケイグループの育鵬社を支援する「教科書改善の会」の事務

川上 「I am 日本人」の中でも、エミー

正しい日本人 になるための

book guide

私たちの性格も 幸せな日本の歴史が作った



八木秀次・高崎経済大学教授

日本には西暦五七八年に創業した金剛組という世界最古の企業がある。五七八年といえば、聖徳太子の少し前、敏達天皇の時代で、四天王寺や法隆寺を創建した宮大工集団である。世界には創業二百年以上の企業が五千五百八十六社あるが、そのうちの四割、三千四百四十六社が日本の企業で、創業一千年以上の企業が七社、五百年以上が三十二社、百年以上になると商店など個人事業を含めると十萬社にもなるという。

このように日本には老舗の企業や商店が多く存在するのはなぜだろうか。もちろん各企業や商店の経営努力はある。起業は簡単だが、継続や継承は難しいと言われる所である。しかし、もつと大局的にはわが国の歴史に古代から断絶

がなく、連続していることが指摘されなければならないだろう。韓国出身の評論家、呉善花氏のエッセイは日本人が気の付かない日本の特色を指摘して興味深いものが多いが、中でも次のような指摘は日本の歴史のありがたさに改めて気付かせてくれる。

「日本は中国や韓国のような、複数民族が入り乱れての動乱の歴史をもっていない。政権の交代はあっても、中国や韓国のように、文化が断絶したり生活が一変したりするような極端な歴史変化はなかった。そのため、伝統技術を世代から世代へと伝え、しだいに発展させていくことが可能だった。また各地の狭小な平野部では、村人自身の手で、小さな技術の改良が延々と積み重ねられてきた。日本人が、小さなことをコツコツと積み上げていくことをいとわないのも、そして、そうすれば必ず立派なものに仕上げる事ができると信じているのも、そう

した歴史体験がベースにあるからに違いない」

日本人はコツコツ努力することを尊ぶ。努力すれば必ず報われると信じている。しかし、このような国民性も歴史に断絶のない平和な歴史があつてのことである。大きな動乱が繰り返される国では、せつかく何年も何十年も積み上げたことも、一回の動乱で全部駄目になる。努力が報われないし、努力することも馬鹿馬鹿しくなるであろう。ロシアの民話には怠け者がある日、大きな富を得る話があるが彼らが過ごしてきた過酷な歴史がその背景にあるのだろう。

私たちはひとりひとり極めて個性的に生きていますと信じている。しかし、私たちひとりひとりの性格も個性もこの幸せな日本の歴史が作り上げたものなのだ。古い企業や商店が生き残れるのも日本の歴史が安定しているがためである。私たちはもつと日本の歴史に感謝してもいい。

日本人ほど個性と創造力の豊かな国民はいない

【日本人ほど個性と創造力のない国民はいない】

呉善花 研究所、平成19年



川上和久氏の最新刊『数字で読む日本』(扶桑社新書)。森田知事も推薦!

の祖父が住んでいた町のお祭りを再興しようと、若者たちが力を合わせて取り組むというシーンがあります。千葉にはたくさんのお祭りがあるのですが、若者の参加が少なくなってきました。復興して、伝統文化への若者の参加日本一を目指してほしいと思います。

森田 そういうところに光を当てることが大事です。僕たちだっただけで若いころ、光が当たると踊りたくなつたじゃないですか(笑)。地域さまざまに伝統文化を守る、共同体を再構築するという意味で、行政としてどのようなことができるのか考えたいと思います。

教育改革は意識改革

川上 教育を立て直すという森田知事の決意は経済界も歓迎しているのではないのでしょうか。

森田 経済界だからカネのことばかり考えているかという、違うんです。教育のことを

ちゃんと考えています。ただ、そういうことを今まであまり言わなかった。今回、森田がはつきり言ってくれたということでも共鳴してくださっています。

八木 いい加減な教育をやっている経済だけが発展することはあり得ません。経済の下支えは人づくりですからね。

森田 おっしゃる通りです。

八木 森田知事の誕生で、東京都の石原慎太郎知事、神奈川県松沢成文知事、埼玉県の上田清司知事と、首都圏は保守系の知事がそろいました。

森田 アクアラインの通行料を800円にするよう国に求めることについては、東京、神奈川、埼玉、千葉の1都3県と横浜、川崎、千葉、さいたまの4政令指定都市の首長による8都県市首脳会議(首都圏サミット)でも呼びかけ、合意しました。首都圏が一致団結したんです。

川上 首都圏サミットでは、携帯電話の有害サイトから小中学生を守る取り組みについて、携帯電話を販売する際に接続を制限するフィルタリングを原則設け、解除は使用者の任意とするよう早期に事業者へ要望することでも一致しました。神奈川県松沢知事は、成田―羽田間を約15分で結ぶ「超高速鉄道整備

構想」を紹介しましたが、森田知事も成田―羽田間のリニアモーターカー実現をマニフェストに掲げていますから、千葉県と神奈川県で事務レベルの勉強会を発足させることになりました。早くも連携がうまくいっています。

森田 まず石を投げないと波紋は広がらないんです。アクアラインの通行料については絶対下げようと思っています。先日、麻生首相にこの件を直訴したときに「値下げできないというんだつたら、目の前のニンジンはいらないから、もうアクアラインなんてぶっ壊してくれ」と言いました。このくらい言わなきゃ駄目なんです。やればできるんだということが子供たちに示す。夢や希望を与えることができます。これも教育です。

八木 意識改革というか、精神革命ですよ。過去の歴史を見つめると、国の立て直しのときにはまず意識改革が行われてい

ます。森田知事はそこに目を付けて教育正常化に邁進されているんだということが分かりました。今後とも日本教育再生機構にご協力いただければと思います。きょうはお忙しい中、ありがとうございます。

(※東京湾アクアラインの値下げは、対談後の5月22日、森田知事の公約通り決定しました。)